

戦略3 次世代に向けた住みよいえべつづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 健康福祉部・建設部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 子どもを産み育てたいと思えるまち、子育て後も安心して暮らせるまちをめざします。
- 駅周辺の利便性を向上させるとともに、駅を中心とした拠点とその他の地区とネットワークを充実させ、すべての市民が快適に暮らせるまちをめざします。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

名 称	決算額						予算額			
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり	84,275	千円	738,225	千円	299,746	千円	315,745	千円		千円
3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり)	1,007,261	千円	843,477	千円	497,835	千円	564,819	千円		千円
計	1,091,536	千円	1,581,702	千円	797,581	千円	880,564	千円		千円

戦略プロジェクト3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり

【プロジェクトの目標】

子どもを産み育てる環境を充実させるとともに、多世代が関わり合いながら、社会全体で子育てをサポートする環境をつくることで、「子育てしながら働きやすいまち」「子どもを産み育てやすいまち」をめざし、子育て世代の定住促進に取り組んでいきます。

◆成果指標3A-1 子育て環境が充実していると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
49.2	44.4	50.0	50.8			60.0

◆成果指標3A-2 江別市で子どもを産み育てたいと考えて転入してきた子育て世代（20～40代）の割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
5.7	6.3	6.1	7.2			8.0

■成果動向（評価）

「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」については、喫緊の課題である待機児童解消対策においては、0～5歳の一貫保育や定員増等を目的に平成28年11月に「よつば保育園」を開園したほか、民間事業所内保育施設の平成29年4月新設に向け準備を進めてきました。このほか、民間小規模保育施設2か所の開設に向けても、取組を進めています。

「子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実」については、小中学校外国語教育支援事業では、小学校外国語活動を全学年で実施しました。また、児童生徒体力向上事業では、大学などの連携により、体力向上プログラムや出前授業、走り方教室を実施しました。

「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」については、子育てひろば事業においては、市内外へのPRや実施事業の充実により、前年度に比較して大幅な利用増となりました。また、あそびのひろば事業は、市の実施事業としては横ばいですが、民間も含めたあそびのひろば全体では、利用増となっています。

このような取り組みの結果、成果指標3A-1、3A-2ともに成果指標の割合が向上しています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

「子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備」については、子育て世代の就労意欲の高まりとともに、保育の待機児童は増加している状況にあり、民間事業所等の協力を得ながら引き続き保育の受け皿拡大を進めてまいります。

「子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実」については、引き続き、学習サポート教員を全小中学校に派遣するとともに、小学校外国語活動の全学年実施、大学と連携して体力向上の取組の支援を行うなど、教育内容の充実を図ります。

「多世代が交流する子どもの遊び場の充実」については、子育てひろば事業、あそびのひろば事業においては、引き続き事業内容の充実を図りながら、地域で子育てを支援する環境整備を推進してまいります。

◇推進プログラム3A-① 子どもを安心して産み育てられる支援体制の整備

<課題>

- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育（子育て支援）ニーズへの対応
- 妊娠・出産・育児に対する意識（関心・理解）の向上

<取組の概要>

- ・待機児童解消の推進（子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備）
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画推進（よつば保育園の建設）
- ・意識を高めるイベントや講演会の開催

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
待機児童解消対策事業	入所できた児童数	76 人	77 人	159 人	
	事業費	113,219 千円	156,909 千円	249,189 千円	
よつば保育園建設整備事業	入所児童数	116 人	116 人	— 人	H28年11月開園 (事業完了)
	入所率	96.7 %	96.7 %	— %	
	事業費	589,373 千円	77,892 千円	— 千円	
いのちを育むイベント事業	参加延べ人数	— 人	64 人	— 人	H29他事業と統合
	事業費	— 千円	128 千円	— 千円	

◇推進プログラム3A-② 子育て世代が定住したくなる住環境の整備と教育内容の充実

<課題>

- 学力の向上
- 外国語活動の低年齢化への対応
- スポーツに親しむ環境の整備
- 市営住宅全団地に子育て世帯優先枠を拡充

<取組の概要>

- ・全ての中学校で放課後の補足的学習を実施
- ・小学校外国語活動を全学年で実施
- ・大学との連携により、「走り方教室」等を実施
- ・各団地の子育て世帯の入居を優先

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
小中学校学習サポート事業	学習サポート教員の年間派遣回数	3,732 回	3,627 回	3,665 回	
	事業費	9,237 千円	9,243 千円	9,329 千円	
児童生徒体力向上事業	児童生徒で体力が向上した割合 (モデル校)	83 %	83 %	80 %	
	事業費	635 千円	635 千円	679 千円	
小中学校外国語教育支援事業	外国の人とコミュニケーションをとってみたいと考える児童生徒の割合	—	61 %	100 %	H28新規事業
	事業費	— 千円	27,944 千円	28,064 千円	

◇推進プログラム3A-③ 多世代が交流する子どもの遊び場の充実

<課題>

- 天候に左右されずに遊べる場所と交流事業の展開
- より身近な地域での子育て支援事業の拡充・展開
- 多世代交流の場の提供と推進

<取組の概要>

- ・「ぼこ あ ぼこ」でのソフト事業の充実
- ・あそびのひろば事業の充実や、ボランティアの育成など、さまざまな運営主体への支援の検討
- ・子育て支援センターの新設（よつば保育園内）
- ・子育て支援センター等における情報提供、交流事業
- ・あそびのひろばにおける多世代交流事業の実施

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）	ひろば延べ利用者数	85 千人	92 千人	80 千人	
	託児延べ利用者数	646 人	537 人	900 人	
	事業費	22,975 千円	24,170 千円	25,496 千円	
あそびのひろば事業	あそびのひろば参加組数	1,278 組	1,246 組	1,500 組	
	事業費	2,786 千円	2,825 千円	2,988 千円	

戦略プロジェクト3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり）

【プロジェクトの目標】

江別市のまちの特性に合わせた駅周辺の活性化を進め、魅力ある住みよいまちを実現するとともに、様々なライフスタイルに対応するため、駅周辺の利便性を向上させることで、誰もが暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。

◆成果指標3B-1 駅周辺の利便性が高いと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
65.7	62.6	66.6	65.6			74.0

◆成果指標3B-2 江別市が暮らしやすいと思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
74.3	75.7	80.5	76.5			78.0

■成果動向（評価）

個別事業については、計画に基づき段階的な取組を進めているところであり、ほぼ計画どおり進捗しています。成果指標3B-1については初期値から横ばい傾向で、3B-2の成果指標は前年度から4ポイントの減となりましたが、初期値からは増加傾向にあります。

なお、駅周辺の利便性向上に向けては、平成28年度から野幌駅周辺の南口駅前広場の新設工事に着手するとともに、「地域公共交通活性化協議会」を設置し、市内バス路線の再編に向けた計画策定等の取組を進めています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

更なる成果向上のため、今後も野幌駅周辺の基盤整備を着実に推進するとともに、平成30年秋のバス路線再編を実現させるための計画案を平成29年度に取りまとめます。

また、地域おこし協力隊による大麻地区の住み替え相談等の強化を図るほか、人口減少対策として「転入増加」や「定住人口の維持」につながる取組を、国が実施する子育て支援策との連携を図りながら継続して進めていきます。

◇推進プログラム3B-① 様々なライフスタイルに対応した駅周辺の利便性の向上

<課題>

- 顔づくり事業の着実な推進
- 各駅周辺の利便性の向上

<取組の概要>

- ・野幌駅周辺の土地利用の増進
- ・駅周辺の快適性、利便性の向上
- ・バリアフリー化の推進

事務事業	指標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備考
江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）	事業費進捗率(累計)	74 %	80 %	90 %	
	事業費	828,166 千円	448,183 千円	495,245 千円	

◇推進プログラム3B-② 交通ネットワークの充実

<課題>

- バス交通の利用促進
- 南北間の交通ネットワーク構築と交通機能の向上
- バス利用に関する情報提供の工夫

<取組の概要>

- ・バス路線の再編に向けた調査等の実施、計画の策定
- ・地域公共交通活性化協議会等の開催
- ・バス路線マップの随時見直し
- ・市ホームページや広報誌による路線バスの利用啓発等

事務事業	指標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備考
公共交通利用促進対策事業	バス輸送人員	554 千人	610 千人	523 千人	
	事業費	13,616 千円	4,578 千円	12,927 千円	

◇推進プログラム3B-③ 高齢者等がいきいきと活動しやすい居住環境の充実

<課題>

- 高齢者の住み替えニーズの把握
- 高齢者の住み替え先の確保
- 市内既存の高齢者向住宅に係る実態把握
- 建設事業者の意向把握、誘導、指導

<取組の概要>

- ・大麻地区に住み替え相談窓口を開設するとともに、交流農園・セミナーなどのソフト事業を実施
- ・地域おこし協力隊を活用した住み替え相談体制の構築
- ・親と同居・近居するための住宅取得等への支援を実施するとともに、多子世帯の住宅取得を支援

事務事業	指 標	H27年度	H28年度	H29年度(予算)	備 考
大麻地区住環境活性化事業	住み替え相談件数	5 件	15 件	15 件	
	事業費	1,695 千円	5,174 千円	6,163 千円	
住宅取得支援事業	支援により定住した世帯数	—	150 世帯	187 世帯	H28新規事業
	事業費	— 千円	39,900 千円	50,484 千円	